

2026年8月3日

月島JFEアクアソリューション株式会社

広島市西部水資源再生センター下水汚泥再資源化施設更新・運営事業
基本協定締結に関するお知らせ

月島JFEアクアソリューション株式会社（以下「TJAS」、社長：鷹取 啓太）を代表企業とする企業グループ（以下「本グループ」）は、「広島市西部水資源再生センター下水汚泥再資源化施設更新・運営事業」（以下「本事業」）に係る基本協定を締結しましたので、お知らせいたします。

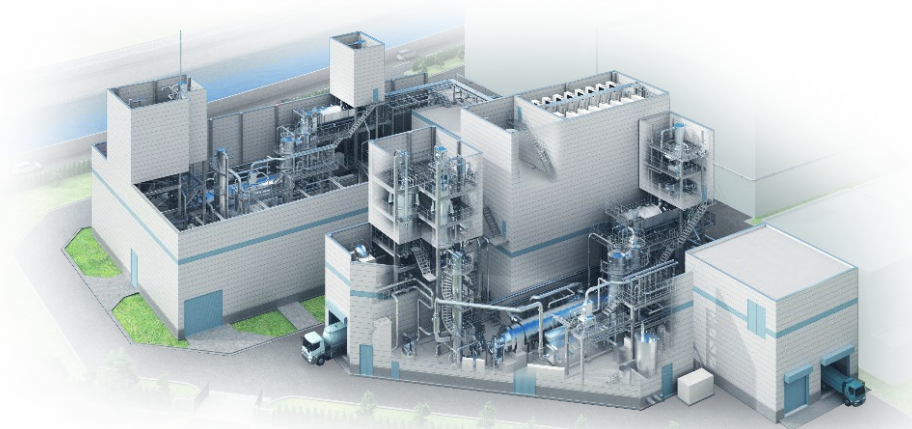
本事業は、広島市西部水資源再生センターの既設下水汚泥燃料化施設を、処理能力を拡充した下水汚泥再資源化施設として更新するとともに、他の水資源再生センターの脱水汚泥等を受け入れるための施設を整備し、下水汚泥の集約処理を可能とするものです。これにより、社会情勢の変化に柔軟に対応できる持続可能な汚泥処理体系を構築し、循環型社会の形成および脱炭素社会の実現に貢献することを目的としています。

下水汚泥再資源化物については、日本産業規格（JIS Z 7312 下水汚泥固形燃料）および普通肥料の公定規格（菌体りん酸肥料）を満たす製品を製造し、有価物として販売することで、エネルギー源や肥料として有効活用します。

本事業については、下水汚泥再資源化施設は、施設の設計・建設から維持管理・運営までを民間事業者が一体的に担うDBO（Design Build Operate）方式により実施するものです。なお、脱水汚泥受入施設については、維持管理・運営を含まないDB（Design Build）方式で実施するものです。

本グループは、これまで培ってきた豊富な実績とノウハウを活かし、長期的かつ安定的な施設運営を実現する提案を行い、2026年7月23日に落札候補者に選定され、7月28日に広島市と基本協定を締結いたしました。本事業は、TJASグループがこれまで手掛けてきた下水汚泥有効利用施設の官民連携事業としては過去最大級の案件となります。今後は、契約協議および事業契約の締結を経て施設の設計・建設に着手し、2032年4月から2055年3月まで維持管理・運営ならびに下水汚泥再資源化物の買い取りを行います。

TJASグループは、下水汚泥を肥料や再生可能エネルギーへと転換する下水汚泥再資源化事業を通じて、循環型社会の形成と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



下水汚泥再資源化施設イメージ図

広島市西部水資源再生センター下水汚泥再資源化施設更新・運営事業の概要

1. 事業概要

- (1) 事業名称：広島市西部水資源再生センター下水汚泥再資源化施設更新・運営事業
- (2) 事業場所：西部水資源再生センター（広島市西区扇一丁目1番1号ほか）
- (3) 事業内容：設計・建設 下水汚泥再資源化施設
 脱水汚泥受入施設等
 維持管理・運営 下水汚泥再資源化施設の運転管理、修繕工事など
 下水汚泥再資源化物の利活用
- (4) 事業期間：設計・建設 契約締結後（2026年9月予定）～2037年3月（約10.5年間）
 維持管理・運営 2032年4月～2055年3月（23年間）
- (5) 総事業費：約266億円（消費税含まず）

2. 下水汚泥再資源化施設概要

- (1) 処理方式 低温炭化方式（300～400℃）
- (2) 施設能力 脱水汚泥 60wet-t/日×2 炉

3. 本グループの構成企業と主な役割

代表企業：月島 JFE アクアソリューション株式会社（下水汚泥再資源化施設の設計建設、修繕工事、燃料利用マネジメント等）

構成企業：月島ジェイテクノメンテサース株式会社（下水汚泥再資源化施設の運転管理等）

構成企業：株式会社建設技術研究所（肥料利用マネジメント等）

《本リリースに関するお問い合わせ先》

月島ホールディングス株式会社 広報・IR 部

TEL 03-5560-6503

月島 JFE アクアソリューション株式会社 営業本部 営業企画部

TEL 03-5560-6530